

科目名	地域・在宅看護論Ⅲ	開講年次	2年次後期	
		講義時間(単位)	30時間(1単位)	
講師名	梅垣亜由美・山下佳美			
授業目標	<p>継続看護に必要な支援に内容について理解できる。  在宅看護の各時期と概要を学び在宅介入のおもな特徴と目的について理解する。  地域・在宅で提供する看護の特徴を学び、日常生活援助及び医療的援助の技術の実際を学ぶ。</p>			
使用テキスト	地域・在宅看護論①在宅療養を支えるケア:ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支えるケア:ナーシンググラフィカ			
回数	授業内容	授業形態	担当講師	
1~5	在宅療養を支える生活のケアのアセスメント 食事・栄養ケア(食事摂取能力のアセスメント) 清潔を支えるケア(清潔のアセスメント) 排泄を支えるケア(排尿・排便のアセスメント) 移動を支えるケア(移動能力のアセスメント)	講義	山下佳美	
6~15	在宅療養を支えるケア(医療的ケア) 食事・栄養ケア(嚥下を促すケア・口腔ケア) 清潔を支えるケア(清潔保持のためのケア) 排泄を支えるケア(排泄の援助と実際) 移動を支えるケア(肢位の保持と移動) 発災時の課題と対応	講義 グループワーク 演習	梅垣亜由美	
16	試験	試験		
評価方法	筆記試験100点(山下先生50点、梅垣先生50点) 授業態度・出席日数・課題レポート			
備考				